

平成31年度
予算審査
ハイライト

子育て支援に重点 = 新道の駅整備に向けて本格始動 =



大浦正志委員長

総務費

久野委員Ⅱ液体ミルクは保存期間が短いため、企業と災害協定を結んでは。

岸本総務部長Ⅱ災害時、優先的に供給してもらえる企業をさがすとともに町でも備蓄する。

山川委員Ⅱ防災行政無線の運用時期は。

岸本総務部長Ⅱ32年度（令和2年度）から運用を開始する。

加藤委員Ⅱ町史は音更100年以降の20年分を整備するのか。

佐藤総務課長Ⅱ100年史の続編として、20年分を基本に編纂する。

重堂委員Ⅱ税の滞納者と職員との関わりは。

佐藤収納課長Ⅱ滞納に陥った原因や状況を聞き、滞納を解消できる

よう納税相談を行っている。

上野副委員長Ⅱ災害時に有効なFM局を町でもつたらどうか。

高木副町長Ⅱ制度的な問題もあり、町でもつのは難しい。開局しているFM放送局と協定を結んで対応している。

企画費

宮村委員Ⅱ乗合タクシーは、同じような距離なのに料金が違う。

渡辺企画財政部長Ⅱ行政区ごとに料金を設定している。今後、地域の声も聞いていく。

神長委員Ⅱ6期総の策



力をあわせて 消防戦隊けすんじゃー

平成31年度予算審査特別委員会は3月12日から19日までの5日間の日程で開催しました。平成31年度一般会計ほか5特別会計、水道、下水道事業会計と関連議案8件を審議しました。ここでは、主な質疑と答弁の概要をお知らせします。

定にあたり、職員ワークシヨップの要領は。渡辺企画財政部長Ⅱ新たな取り組みであり、専門家の意見も聞きながら検討していく。

堀江委員Ⅱ乗合タクシーの利用条件は。重堂企画課長Ⅱ一人で乗り降りできる農村地域の方で、町中まちなかに移動する場合に利用できる。

高齢者顕彰式 引き続き継続を

保健福祉費

神長委員Ⅱ（令和元年）10月から始まる幼保の無償化により、保育のニーズが増え、待機児童が増えるのでは。

重松保健福祉部長Ⅱ3月現在で待機児童35名、特定待機児童39名。宝

来認定こども園の完成により一部解消されるが、引き続きなくす方向で施策を進めていく。大野委員Ⅱ障がい者基幹相談支援センターの専門員は、2名で足り

ているのか。高橋福祉課長Ⅱ1人当たり40件の相談がある。他の相談窓口も利用してもらっている。

坂本委員Ⅱ市街地で定員割れしている保育園はあるのか。

樋田子ども福祉課長Ⅱ年度当初は、いくらか定員割れも見られるが、年度途中に埋まる。

山本委員Ⅱ80歳のお祝である高齢者顕彰式が取り止めになったが、一つの時代を作った人たちのために継続を。

町長Ⅱ120年の町の歴史を支えてきた高齢者に対して、形は変わるが礼儀を尽くす。

町民生活費

平山委員Ⅱ町民法律相談の内容と件数は。

青砥町民課長Ⅱ相続、離婚など家族に関することや隣家とのトラブルなどの相談が多く、

30年度の利用は49件。久野委員Ⅱ新元号に伴う窓口業務の対応は。

青砥町民課長Ⅱ5月1日は婚姻届が多いと予想されるが、日直で対応する。

産業振興費

坂本委員Ⅱ十勝が丘公園にある歌碑の説明文が風化して読めない。傳法経済部長Ⅱ公園整備の計画があり、建設サイドと協議したい。

山本委員Ⅱ道の駅整備の審査員の人数と、審査の進め方は。

吉田産業連携課長Ⅱ幅広い分野から女性3人を含む8人。連休明けに、設計、建設、管理運営を一括して審査する。

建設費

榎本委員Ⅱ冬期間トイレを使える公園の数は。

守屋委員Ⅱ道の駅整備は、ワークシヨップなど町民の声を聞く機会があるのか。

吉田産業連携課長Ⅱパブリックコメント等の実施も検討していく。

高瀬土木課長Ⅱ緑陽台近隣公園など4公園。

平山委員Ⅱ北9線道路の整備予定は。

鈴木建設水道部長Ⅱ34年（令和4年）春、道の駅のオープンに合わせ整備していく。

いじめの相談 SNSの活用を

教育費

久野委員ⅡSNSを活用した、いじめ相談体制の構築を。

福地教育部長Ⅱ町独自の事業として24時間体制をとるのは難しい。

神長委員Ⅱ31年度の教職員の働き方改革の取り組みは。

草浦学校教育部長Ⅱ臨時教諭の配置や夏休み3日間、年末年始6日間の学校閉庁日を設定。

堀江委員Ⅱ柳町運動公園の復旧の展望は。

吉田スポーツ課長Ⅱまだ護岸の復旧が終わっていない。国の動きを待っており、復旧のめ

どは立っていない。

職員費

方川委員Ⅱ役場職員の時間外勤務は、課ごとに特徴があるが。

高木副町長Ⅱ業務内容や時期により、特定の課に偏る場合もある。

歳入

守屋委員Ⅱ給与所得の増加により個人住民税が1・2%増加の見込みだがその根拠は。

岸本総務部長Ⅱ前年度実績から増加が見込まれる。ただし、農業所得は若干減少すると見込んでいる。

国保特別会計

久野委員Ⅱ都市部と町村部において医師の偏在が問題となっている。町の医療体制は。

町長Ⅱ年1回、医療関係者と地域ケアを含めて意見交換している。医師の偏在と高齢化率が上がり、在宅ケアも重要になってくる。

神長委員Ⅱ一般会計からの繰入金はないのか。

荒井町民生活部長Ⅱ31年度は、健全化繰入をせずに予算編成できた。

介護保険特別会計

久野委員Ⅱ成年後見制度の利用者数は。

堀田高齢者福祉課長Ⅱ現在7名。31年度は10名を見込んでいる。

平山委員Ⅱ30年度から町主体となった配食サービスの利用者数は。

堀田高齢者福祉課長Ⅱ3月現在で106名。そのうち農村地区は15名が利用している。

水道事業会計

守屋委員Ⅱ介護サービスの上限額を超えて利用している人数は。

堀田高齢者福祉課長Ⅱ高額介護サービスは、毎月500件くらいの該当者がいる。

鴨川委員Ⅱ水道の民営化の計画はあるのか。

町長Ⅱ生活エリアが散在しているため、民営

化は難しいと思われる。

下水道事業会計

平山委員Ⅱ開進地区の下水道の整備状況は。

井原上下水道課長Ⅱ23%の整備率。31年度は35%となる予定。

放課後子ども教室 大規模校に必要

総括

久野委員Ⅱ子ども・若者育成支援地域協議会の設置と予算化は。

重松保健福祉部長Ⅱこの仕組みについては、

大きな体制づくりが必要となるため検討中。

上野委員Ⅱ全道・全国スポーツ大会の参加補助で、指導者が帯同できない場合の対応は。

福地教育部長Ⅱ保護者等を引率者として、補助の対象にできるように検討する。

松浦委員Ⅱ放課後子ども教室は、大規模校でこそ必要なのは。

福地教育部長Ⅱ授業のコマ数の増加、ボランテニアや場所の確保が難しく、現在は大規模校で出来る状況にない。



背筋を伸ばしていつまでも元気（文化協会ダンス部発表会）